

お問い合わせ先

パラマウントベッドホールディングス株式会社 広報・IR部
〒136-8671 東京都江東区東砂2丁目14番5号
TEL:03-3648-1100(大代) FAX:03-3648-5781

<http://www.paramountbed-hd.co.jp>



as human, for human
PARAMOUNT BED
HOLDINGS

平成24年3月期

中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

パラマウントベッド株式会社 第64期中間報告書

証券コード:7817

パラマウントベッドホールディングス株式会社

先進の技術と優しさで、 快適なヘルスケア環境を創造します。

株主の皆さまには日ごろよりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここにパラマウントベッド株式会社第64期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業の概況と決算をご報告いたします。

Q 当第2四半期の業績（連結）について、
好調の要因をどのようにお考えですか。

A 売上高につきましては、期初予想（280億円）を上回り、前年同期比では23.8%増の301億円となりました。ユーザー別に売上を見ますと、在宅向けは予想どおり前年同期並みに推移いたしましたが、施設向けは、前年同期を大幅に上回りました。東日本大震災による生産の一時停止や物流面の混乱等の影響で、前期中に納入予定であった施設向け製品、十数億円分が当期の納入となったほか、本年7月の地上デジタル放送への完全移行に伴い、テレビ関連製品の需要が急増したことなどが寄与いたしました。また、連結子会社につきましては、各社おおむね計画を上回りました。

利益面では、営業利益、経常利益、四半期純利益がいずれも期初予想及び前年同期を上回りました。

当中間期の配当は、1株当たり15円を実施させていただきます。期末配当金につきましては、体制変更後も従来どおり、20円を継続する予定であります。

Q 平成23年10月1日からパラマウントベッドホールディングス株式会社を親会社とする持株会社体制に移行しました。その理由を教えてください。

A 近年の業績回復基調からのさらなる成長を図るため、それぞれの事業会社に一定の権限と責任を持たせるとともに、グループ戦略機能の強化を図るため、持株会社体制に移行いたしました。

これまでは、製造事業会社であるパラマウントベッド株式会社の下に、メンテナンス事業のパラテクノ株式会社、福祉用具レンタル卸事業のパラマウントケアサービス株式会社（平成23年10月1日、サンネットワーク株式会社より商号変更）が位置しておりましたが、持株会社の下で事業会社を並立させることで、それぞれの立場で、きめ細かな事業活動ができるような組織体制にいたしました。

持株会社であるパラマウントベッドホールディングス株式会社は、「グループ経営戦略の策定」や各グループ会社に対する「経営指導」「業務執行状況の確認」「経営資源の最適配分」などを担います。長期的視野に立った事

Statement: as human, for human

業戦略を策定し、業務の多角化を推進するとともに、各社の連携の中心となり、企業価値の向上に向けて、グループを牽引してまいります。

Q パラマウントケアサービス株式会社の商号変更の目的を教えてください。

A 持株会社体制移行にあたり、「パラマウント」を冠する社名に変更することで、弊社グループの一員であることをより明確にいたしました。全国で福祉用具レンタル卸サービスを展開する同社の事業を推進するため、メーカー直系をアピールすることで、メンテナンスの技量などの優位性を明確化いたします。また、オリジナル製品の開発など、より安心・安全な製品の提供を図ってまいります。

パラマウントケアサービス株式会社は、昨年度16カ所の営業拠点を開設し、現在（平成23年10月1日現在）は全国40拠点でサービス展開しております。今期中にはさらに5拠点を開設する計画を進めております。レンタル事業を行うお客様へのさらなるサービス向上を目指してまいります。

代表取締役社長

木村 恭介

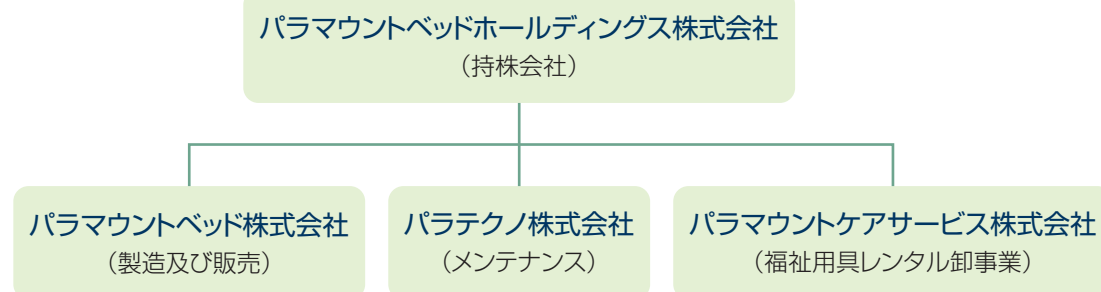
● パラマウントベッドホールディングス株式会社 新規上場

持株会社体制へ移行

パラマウントベッドグループは10月1日に、パラマウントベッドホールディングス株式会社を親会社とする持株会社体制へ移行し、同日付でパラマウントベッドホールディングス株式会社がパラマウントベッド株式会社にかわり、東京証券取引所市場第一部に上場しました。

また、今回の持株会社体制への移行に伴い、福祉用具レンタル卸事業の子会社「サンネットワーク株式会社」の商号を「パラマウントケアサービス株式会社」に変更しました。パラマウントベッドグループであること、かつ、その業務領域をイメージしやすい社名になりました。

さらに、グループ全体のブランディング向上を図るべく、グループ共通のブランドシンボルを制定し、各事業会社の社名ロゴが刷新されました。



新ブランドシンボル コンセプトは“人が輝く未来のために”

ブランドシンボルは、パラマウントベッドグループの「P」をモチーフにベッドを表現し、一本脚でバランスを取る姿勢は未完を象徴しています。すなわち、終わりのない研究心、飽くなき探究心を持ち続けることで、時代とともに成長し続けるグループの方針を表しています。そして、人が輝く未来のためにさりげなくそばで支え続ける企業でありたいという願いを込めています。



as human, for human
PARAMOUNT BED
HOLDINGS

証券コードが変わりました！

新証券コード「7817」

今回のパラマウントベッドホールディングス株式会社の新規上場により、証券コードは「7817」となりました。これに伴い、従来のパラマウントベッド株式会社の証券コード「7960」は廃止となりました。

株式に関するお知らせ

平成23年10月1日付で株式交換が行われ、従来株主様が保有されておりましたパラマウントベッド株式会社の株式は、株式交換比率1：1により、パラマウントベッドホールディングス株式会社の株式に交換されました。また、株主優待につきましては、パラマウントベッド株式会社と同内容の制度を導入することに決定しました。

【株主優待】

- 対象株主様
毎年3月31日の株主名簿に記載又は記録された1単元（100株）以上保有されている株主様
- 優待の内容

保有株式数	贈呈内容
100株以上500株未満	1,000円相当のクオカード
500株以上1,000株未満	3,000円相当のクオカード
1,000株以上	5,000円相当のクオカード

- 贈呈時期
毎年1回、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封を予定

株式に関するお問合せはパラマウントベッドホールディングス株式会社総務部まで

電話番号：03-3648-1100
受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
(祝日・夏季休業・年末年始休業を除く)

姿勢保持用具「バナナフィット」 体位変換器「バナナターン」を発売

パラマウントベッド株式会社は、身体に拘縮等があり安定した寝姿勢を保てない方のための姿勢保持用具「バナナフィット」と、寝返りなどをサポートする体位変換器「バナナターン」を9月21日、発売しました。

バナナのように湾曲している形状を利用することで、身体のあらゆるすき間に合わせて使用することができます。また、使用方法を製品カバーに印字し（Sサイズは除く）、使いやすさに配慮しました。



クリティカルケア向け 「メディカル・デザイン・スタジオ」を開設

パラマウントベッド株式会社は11月1日、クリティカルケア向け製品の展示スペース「メディカル・デザイン・スタジオ」をパラテクノ本郷ビル内（東京都文京区）に開設しました。パラマウントベッド株式会社の取扱製品はもちろんのこと、人工呼吸器・生体情報モニターなど、さまざまな医療機器を展示し、クリティカルケアに関わるすべてのソリューションをトータルで提案します。展示場は、4床の病室／処置室のほか、イベントスペースやカフェスペースなど、約300㎡。空間デザインを検討するためのシミュレーションはもちろんのこと、セミナーやミーティングなど、幅広く活用いただける空間を目指しています。

名称：Medical Design Studio（メディカル・デザイン・スタジオ）
住所：東京都文京区本郷5丁目28番3号（パラテクノ本郷ビル1階）



内部の様子



さまざまな医療機器を展示

パラマウントベッド仙台支店が移転

パラマウントベッド株式会社の仙台支店が7月18日に移転しました。新支店の所在地は仙台駅から徒歩約7分。仙台市青葉区花京院のオフィス街にある「花京院プラザ」という11階建てビルの4階フロアです。フロア面積は約500㎡。フロア内にショールーム（約150㎡）を併設しています。

仙台支店
〒980-0013
仙台市青葉区花京院2丁目1番65号 花京院プラザ4階
TEL：022-217-7311（代）
FAX：022-217-7811



花京院プラザ外観

一般向け睡眠ブランド「スマートスリープ」 競泳日本代表「トビウオジャパン」スポンサーに

パラマウントベッド株式会社は10月31日、日本水泳連盟・競泳日本代表チーム（トビウオジャパン）とスポンサー契約を締結しました。11月1日に発売された水のチカラで寝返りをサポートする新マットレス「スマートスリープ アクア」など、パラマウントベッド株式会社が長年医療・介護分野で培ってきた睡眠研究にもとづく製品を選手へ提供し、優れたパフォーマンスで活躍が期待されるトビウオジャパンの選手の“睡眠・休養”をサポートすることで、その活躍を最大限バックアップしていきます。



トビウオジャパンのロゴマーク



新製品発表会の様子

財務ハイライト

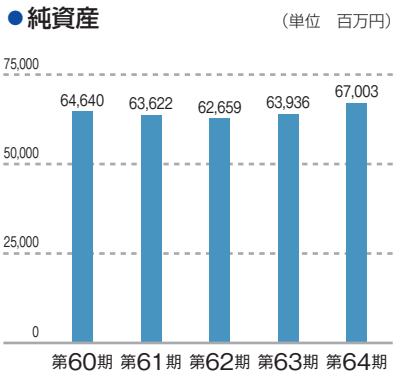
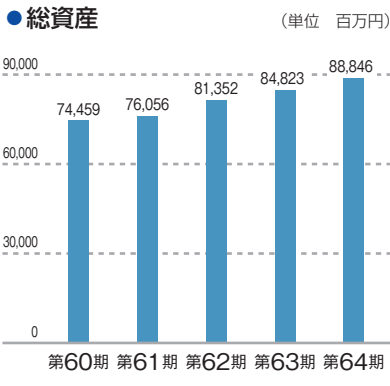
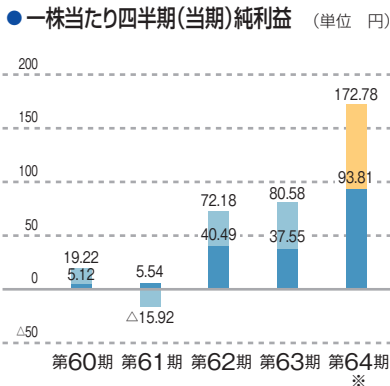
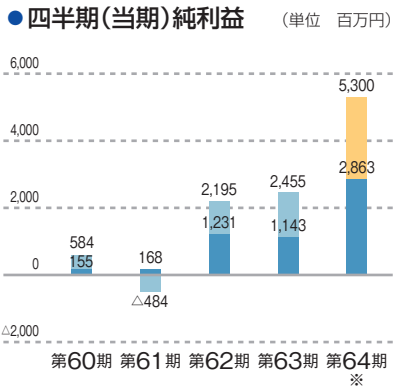
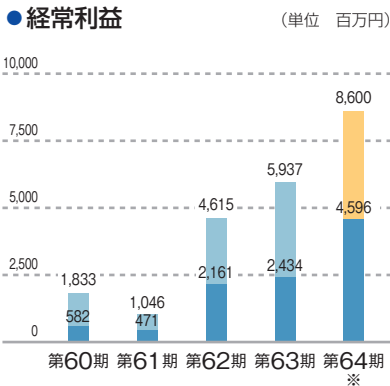
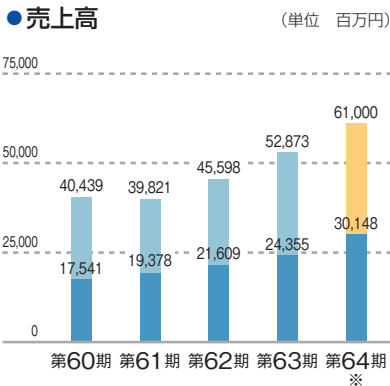
Financial Highlights

営業の概況

Outline of Operating Results

当社は平成23年10月1日に持株会社体制へ移行いたしました。当第2四半期連結累計期間までの各財務データにつきましては、持株会社体制移行前のパラマウントベッド株式会社の連結決算数値となります。

(単位 百万円)						
科 目	期 別	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
		第2四半期連結累計 (平成19年9月30日)	第2四半期連結累計 (平成20年9月30日)	第2四半期連結累計 (平成21年9月30日)	第2四半期連結累計 (平成22年9月30日)	第2四半期連結累計 (平成23年9月30日)
売上高		17,541	19,378	21,609	24,355	30,148
経常利益		582	471	2,161	2,434	4,596
四半期純利益		155	168	1,231	1,143	2,863
一株当たり四半期純利益(円)		5.12	5.54	40.49	37.55	93.81
総資産		74,459	76,056	81,352	84,823	88,846
純資産		64,640	63,622	62,659	63,936	67,003



※ 通期見込につきましては、パラマウントベッド株式会社の第64期連結業績予想（参考情報）です。
また、パラマウントベッド株式会社は、平成23年10月1日付でパラテクノ株式会社及びパラマウントケアサービス株式会社の株式の全てを当社に現物配当しておりますが、当該現物配当の影響を反映しておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東

日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるも

の、サプライチェーンの立て直しや各種の経済効果な

どを背景に、引き続き景気の持ち直し傾向が続きました。

しかしながら、原発事故の影響の長期化や円高の進行、

海外景気の下振れなど、先行きにつきましては依然とし

て不透明な状況です。

このような国内の事業環境の中で、生産面におきま

しては、震災による納期遅延の解消と、7月以降の電力

使用制限に対応するための在庫の積み増しを図る目的で、

3月28日から7月1日まで、操業時間の延長を実施いた

しました。

販売面におきましては、東日本大震災による生産設備

の一時停止や物流面の混乱等の影響で、前期中に納入予

定であった施設向け製品、十数億円分が当期の納入とな

りました。また、本年7月の地上デジタル放送への完全

移行に伴い、テレビ関連製品の需要が急増したことなど

も寄与し、施設向け販売は前年同期を大きく上回りました。

一方、在宅介護市場向け販売につきましては、前期

に引き続き順調に推移いたしました。

連結子会社につきましては、おおむね順調に推移いた

しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高

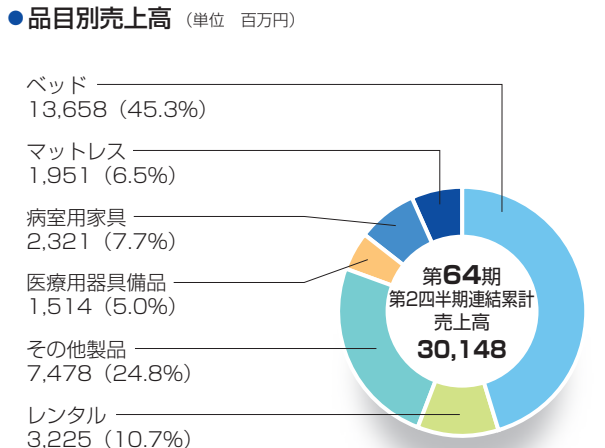
301億48百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益

47億53百万円（同64.6%増）、経常利益45億96百万

円（同88.8%増）、四半期純利益28億63百万円（同

150.4%増）となりました。

品目別売上高については、下記グラフのとおりです。



四半期連結財務諸表

当社は平成23年10月1日に持株会社体制へ移行いたしましたが、四半期連結財務諸表内の数値につきましては、持株会社体制移行前のパラマウントベッド株式会社の連結決算数値となります。

四半期連結貸借対照表 (要旨)

POINT

1

受取手形及び売掛金

当社グループの業績には季節変動があり、毎年第4四半期の売上が最もウエイトが大きくなる関係上、前期末時点の残高が大きくなっております。

POINT

2

利益剰余金

配当金の支払いに伴い剰余金が減少しましたが、四半期純利益の計上により、利益剰余金の残高は前期末から増加いたしました。

POINT

3

自己株式

ストックオプションの行使に伴い、自己株式の残高は前期末から減少いたしました。

期 別	前連結会計年度末 (平成23年3月31日現在)		当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
科 目				
流動資産	43,383	48.7	43,263	48.7
現金及び預金	11,222		19,278	
1 受取手形及び売掛金	15,483		12,020	
有価証券	7,994		2,823	
たな卸資産	5,357		5,508	
その他	3,326		3,632	
固定資産	45,642	51.3	45,583	51.3
有形固定資産	28,187		28,104	
無形固定資産	2,348		2,229	
投資その他の資産	15,106		15,249	
資産合計	89,026	100.0	88,846	100.0
流動負債	15,644	17.6	14,592	16.4
買掛金	6,514		5,880	
その他	9,130		8,712	
固定負債	8,368	9.4	7,250	8.2
負債合計	24,012	27.0	21,843	24.6
株主資本	64,825	72.8	67,269	75.7
資本金	6,591	7.4	6,591	7.4
資本剰余金	7,276	8.2	7,276	8.2
2 利益剰余金	54,235	60.9	56,399	63.5
3 自己株式	△3,277	△3.7	△2,998	△3.4
その他の包括利益累計額	△51	△0.0	△511	△0.6
その他有価証券評価差額金	△28	△0.0	△281	△0.3
為替換算調整勘定	△22	△0.0	△230	△0.3
新株予約権	88	0.1	77	0.1
少数株主持分	150	0.1	169	0.2
純資産合計	65,013	73.0	67,003	75.4
負債純資産合計	89,026	100.0	88,846	100.0

(単位 百万円)

Consolidated Financial Statements

四半期連結損益計算書 (要旨)

期 別	前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)		当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)
科 目				
1 売上高	24,355	100.0	30,148	100.0
売上原価	14,006	57.5	16,886	56.0
売上総利益	10,348	42.5	13,262	44.0
販売費及び一般管理費	7,460	30.6	8,508	28.2
2 営業利益	2,888	11.9	4,753	15.8
営業外収益	156	0.6	218	0.7
営業外費用	610	2.5	375	1.3
経常利益	2,434	10.0	4,596	15.2
特別利益	12	0.0	49	0.2
特別損失	177	0.7	145	0.5
税金等調整前四半期純利益	2,269	9.3	4,499	14.9
法人税、住民税及び事業税	1,274	5.2	1,796	5.9
法人税等調整額	△162	△0.7	△186	△0.6
法人税等合計	1,112	4.5	1,609	5.3
少数株主損益調整前四半期純利益	1,156	4.8	2,889	9.6
少数株主利益	13	0.1	25	0.1
3 四半期純利益	1,143	4.7	2,863	9.5

(単位 百万円)

POINT

1

売上高

売上高は、前年同期比23.8%増の301億48百万円となりました。ユーザー別に売上を見ますと、施設向けは東日本大震災の影響による納期のすれ込みや、地上デジタル放送への完全移行に伴うテレビ関連製品の需要が急増したことなどにより、前年同期に比べ38.3%増加いたしました。一方、在宅向けは前年同期に比べほぼ横ばいとなりましたが、引き続き好調に推移しております。

POINT

2

営業利益

営業利益は、国内の施設向け販売好調による売上増や増産による生産効率の向上、売上高に占める販売費及び一般管理費率の減少などにより、前年同期比64.6%増加いたしました。

POINT

3

四半期純利益

四半期純利益は震災関連費用などを特別損失として計上しましたが、前年同期に比べ150.4%増加いたしました。

四半期連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

当社は平成23年10月1日に持株会社体制へ移行いたしました。四半期連結財務諸表内の数値につきましては、持株会社体制移行前のパラマウントベッド株式会社の連結決算数値となります。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
1 営業活動によるキャッシュ・フロー		1,967	4,612
2 投資活動によるキャッシュ・フロー		△882	1,593
3 財務活動によるキャッシュ・フロー		△709	△501
現金及び現金同等物に係る換算差額		215	△114
現金及び現金同等物の増加額		591	5,590
現金及び現金同等物の期首残高		14,847	13,721
現金及び現金同等物の四半期末残高		15,438	19,312

POINT

1 営業活動による
キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、賃貸資産の増加、仕入債務の減少等の減少要因もありましたが、税金等調整前四半期純利益の増加、売上債権の減少等の増加要因によって、46億12百万円増加いたしました。

POINT

2 投資活動による
キャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券及び投資有価証券の取得や、有形固定資産の取得に伴う支出等の減少要因もありましたが、有価証券及び投資有価証券の売却による増加要因が大きく寄与し、15億93百万円の増加となりました。

POINT

3 財務活動による
キャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、ストックオプションの行使に伴う自己株式の売却による収入等の増加要因もありましたが、配当金の支払い等の減少要因により、5億1百万円の減少となりました。

株式の状況

(平成23年9月30日現在)

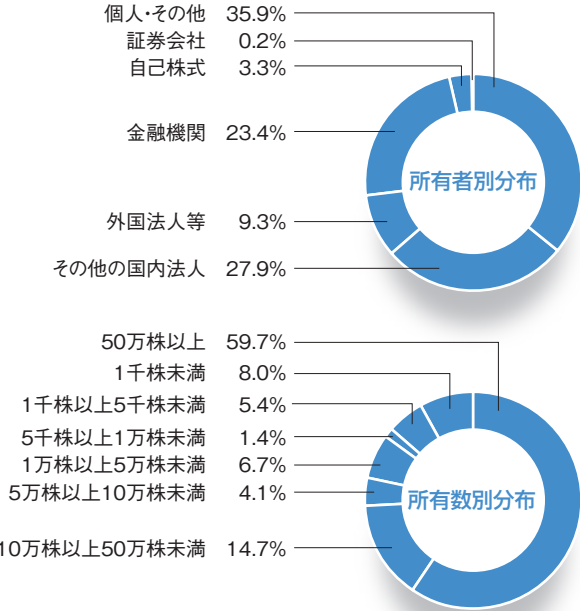
当社は平成23年10月1日に持株会社体制へ移行いたしました。株式の状況につきましては、持株会社体制移行前のパラマウントベッド株式会社の平成23年9月30日現在のものとなります。

- 発行可能株式総数 126,000,000株
- 発行済株式の総数 31,682,526株
- 株主数 14,130名
- 大株主

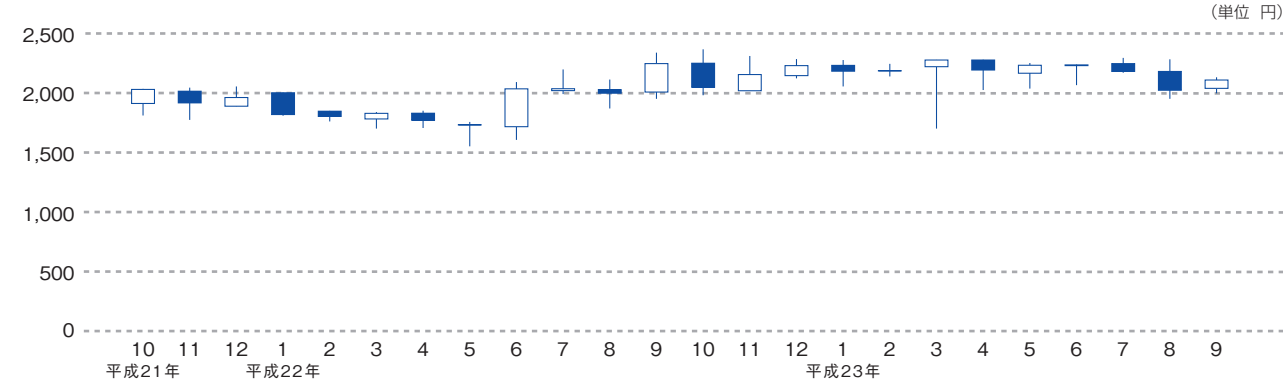
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
パラマウントベッドホールディングス株式会社	7,240	23.7
木村憲司	2,547	8.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,742	5.7
木村恭介	1,325	4.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,269	4.2
木村通秀	1,207	4.0
株式会社みずほ銀行	1,203	3.9
野村信託銀行株式会社（投信口）	728	2.4
有限会社レッジウッド	600	2.0
SSBT 0005 オムニバス アカウント トリーティ クライアソツ	427	1.4

(注) 1. パラマウントベッド株式会社は自己株式1,049千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 平成23年10月1日に、当社を株式交換完全親会社、パラマウントベッド株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換契約の効力が発生し、当社はパラマウントベッド株式会社の完全親会社となりました。

●株式の分布状況



●株価チャート



パラマウントベッドホールディングスグループ主要会社一覧

Network



会社概要

(平成23年10月1日現在)

商号	パラマウントベッドホールディングス株式会社	●役員	
本社	〒136-8671 東京都江東区東砂2丁目14番5号	代表取締役会長	木村憲司
設立	1982年10月	代表取締役社長	木村恭介
資本金	40億円	専務取締役	木村通秀
従業員数	22名	常務取締役	堀内俊雄
事業内容	医療福祉用ベッド、マットレス、病室用家具、医療用器具備品等の製造・販売及び、ベッド・マットレスの点検・修理、消毒、メンテナンスリース等のサービス並びに、福祉用具のレンタル卸等を営む事業会社の株式又は持分を所有することによる支配又は管理	取締役	加藤忠治
		取締役	坂本郁夫
		取締役	佐藤泉
		取締役	越田弘志

Corporate Data

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。但し、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階） 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階） 東京証券代行株式会社 本店 (お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社本店及び全国各支店で行っております。
(郵便物送付先) (連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター (お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009
【株式交換に関するご案内】	
本年6月開催のパラマウントベッド株式会社定時株主総会のご承認を経て、パラマウントベッドホールディングス株式会社とパラマウントベッド株式会社が平成23年10月1日付で、株式交換を行いました。これに伴い、パラマウントベッドホールディングス株式会社が、平成23年10月1日に東京証券取引所市場第一部にテクニカル上場をいたしました。上記に伴い、従来株主様が保有されておりました、パラマウントベッド株式会社の株式は、株式交換比率1：1により、パラマウントベッドホールディングス株式会社の株式に交換されました。	
【株式に関する各種手続きについて】	
●住所変更・単元未満株式の買取請求のお申し出先について お取引口座のある証券会社にお申し出ください。但し、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。	
●未支払配当金のお支払について 当社株主名簿管理人である東京証券代行株式会社又は中央三井信託銀行株式会社本支店で承ります。 ※平成23年3月期以前の配当金につきましても同様の扱いとなります。	